

大学コンソーシアム熊本中期計画（2019～2023年度） 自己点検評価表（令和4年度分）

事業の方向性	事業名	事業内容	熊本の高等教育機関の課題	課題解決に向けての達成目標	令和4年度活動指標	実績		活動状況評価 (各部会評価)	活動状況評価 (企画・運営委/理事会)	事業計画 達成状況	R4年度の 達成状況評価	評価理由	今後の対策等（令和5年度事業計画）	全体 評価		
						達成0 未達2	達成1 未達3									
1. 高等教育機関の教育・研究の充実のための基盤整備	進学ガイダンスセミナー事業	コンソーシアム加盟教育機関による模擬授業の開講と、各大学入試担当者による進学相談コーナーを開設による高校生の進学に対する疑問や質問を解消する取組みを実施する。保護者・高校教員向け講演会も実施し、多面的な進学支援を行う。	県内進学者の増加と県外からの進学者の導入（課題アイウエ）	県内進学率50%以上 県外からの進学者2,500人以上	(取組1の活動指標) 模擬授業数28講座 進学ガイダンスセミナー参加者数1,200人	崇城大学で実施(7/10) 模擬授業 24講座開設 進学相談コーナー 12 参加者 約380名	達成0 未達2	3年ぶりに対面によるセミナーを崇城大学で開催した。コロナ禍により参加人数を制限した。	B	B	達成1 未達1	B	模擬授業数は26/28でほぼ、指標を達成しているが、参加者数が、386人（模擬授業申込み）で、指標を大幅に下回っている。ただし、コロナ禍により参加人数制限等を行ったため、B評価とした。	東海大学熊本キャンパスを会場に7月2日（日）に感染対策を取りつつ、開催する。模擬授業、進学相談コーナー等学問探求のおもしろさやキャンパスライフの魅力等に関する情報を発信することとしている。		
2. 地域の行政や産業界と連携	インターンシップ連携事業	次代を担う熊本県内の高等教育機関の学生が、熊本県内の企業や団体等の職場において就業体験を実施することにより、地域経済や企業活動への理解を深め、就職意識の醸成・向上することを目的として実習プログラムの内容はオリエンテーションや経営陣との懇談、配属部署内での職種体験、実習の講評や実習生の発表を行う。	産学官連携の機会の増加（課題カキケ）	産学官連携に基づく取組の活性化 取組み件数4件 キャンパスバリアの講座数50%以上増 教育のあり方に関する協議の実施 年度内に3回実施 教育機関の連携事業5件以上	(取組1の活動指標) 受け入れ先企業・団体 夏季 115社 春季 65社 派遣実習生数 夏季 250人 春季 50人	夏季 8/12～9/17 受入受諾事業所数 58社 (253人) 受入企業等数 50社 派遣実習生数 142名 春季 2/11～3/10 オンライン/対面/併用 受入受諾事業所数 43社 (194人) 申込学生数 89人 ・大学コンソ県内企業等情報サイト 申込み 81社	達成0 未達2	新型コロナウイルス感染症流行下における実施のため、対面、オンライン、対面・オンライン併用での実施について、事業所による判断として実施した。夏季は新型コロナウイルスの第7波の流行期での実施となった。春季は指標以上の学生の参加があった。	B	B	達成1 未達3	B	本目標に関する3件の事業において4つの活動指標が設けられており、達成1、未達3であった。コロナ禍の中での事業実施であり、人数制限を行うなどの制約もあった上での実施のため数値目標を下回ったが、インターンシップ事業では、春季の参加学生が活動指標を大幅に上回るなど相応の努力はしており、総合的にB評価とした。	産学協議会（三省合意）が新しく掲げたキャリア形成支援に係わる取組「4つの分類型」により、5日以上の職業体験とされた「インターンシップ」が呼称や科目名などを含め、新たな局面を迎えることになった。学生への認知や企業への理解を進め、実習先については業界バランスを考慮した受入企業・団体の開拓、多業種にわたる職業体験（タイプ2、タイプ3、タイプ4）を仲介したい。併せて、マッチング成立件数を上げ、低学年（特に2年生）の参加を増やし、参加大学と連携して、インターンシップ（タイプ2含む）連携事業の周知に努めたい。		
	キャンパスバリア	熊本県生涯学習推進センターが主催する、一般市民向け開講の、くまもと県民カレッジリレー講座「キャンパスバリア」において、加盟機関から教員を派遣している。所属機関の特色を出し、一般市民の興味を持つテーマの講座を開設する。			(取組2の活動指標) 受講希望者数550人	開催期間 7/29～8/31 12機関から13講座開催 受講者 161名	達成0 未達1	熊本県生涯学習推進センターの依頼により、人数制限を行った上で対面での開催となった。	B	B						今後も加盟機関に対し、特色を出した魅力ある講座の開設を依頼し、開催する。
	教育のあり方に関する協議	加盟教育機関と熊本県・熊本市などの自治体とで、熊本県の教育政策とコンソーシアムの事業との整合性や共同の取組みについて協議する。地域に必要な人材像や地域の課題について認識を共有する。			(取組3の活動指標) 協議の実施回数3回	3回実施（9/27、1/23、3/23開催） 第1回は熊本大学、第2回は県教委、第3回は産業界（経済同友会）から講演	達成1 未達0	企画・運営委員会の開催に併せ開催した。	A	A						加盟教育機関と熊本県・熊本市などの自治体とで、熊本県の教育政策とコンソーシアムの事業との整合性や共同の取組みについて協議する。地域に必要な人材像や地域の課題について認識を共有する。具体的には、教育のあり方に関する協議として年度内に3回実施する。
					(活動指標なし)	講演会の開催		講演会の開催 11/10に熊本大学を会場に「熊本地域における大学の役割と将来」の演題で3学長（会長、2副会長）が、リレー形式で講演を行った。講演者を含め47名参加（有料参加33名）	S	S						継続的に開催するよう検討する。
					(活動指標なし)	加盟高等教育機関内での単位互換に関する検討		単位互換の検討 昨年度設置した「単位互換検討WG」において、2大学（熊本大学、九州ルーテル学院大学）による試行を令和5年度後学期から開始することが決定した。	S	S						活動指標がなく、新たに開始した事業・イベントについては、個別の事業は単年度ごとに行っているが、目的「2. 地域の行政や産業界との連携」という目的に関しては、中期計画終了時点において評価するものとした。
	【新規事業】 地域課題解決のための企画事業		(活動指標なし)	「地域課題解決のための政策アイデアコンテスト」の開催		熊本県、熊本市からの課題に、県5件、市17件の応募があり、11月19日に発表会、審査会を実施した。	S	S		今年度も昨年度に引き続き、熊本県、熊本市から「地域課題」を設定いただき、5月末のエントリー〆切、10月の提出〆切を経て、11月に発表会及び審査会を開催することで準備を行っている。						
	【新規事業】 熊本を深く知るための企画事業		(活動指標なし)	熊本を深く知るための企画事業 講演会（オンライン）の実施(10/6)		「熊本フェアトレードの現在とローカル・フェアトレードへの展望」の演題で熊本学園大学の申教授の講演を行った。参加者数 43名 動画視聴 270回	S	S		今年度も昨年度に引き続き、熊本を深く知るための企画事業として、講演会の開催を計画している。						

大学コンソーシアム熊本中期計画（2019～2023年度） 自己点検評価表（令和4年度分）

事業の方向性	事業名	事業内容	熊本の高等教育機関の課題	課題解決に向けての達成目標	令和4年度活動指標	実績	活動状況評価 (各部会評価)	活動状況評価 (企画・運営委/理事会)	事業計画 達成状況	R4年度の 達成状況評価	評価理由	今後の対策等（令和5年度事業計画）	全体 評価	
3. 地域社会の教育・文化の向上・発展	ワンストップ窓口業務	留学生の相談受付、ワークショップの開催、国際交流振興事業団主催の留学生と話そうサロンへの在学留学生の講師派遣など、熊本県内における留学生情報や事業活用の拠点として活動する。	国際交流の活性化 (課題才)	留学生の受け入れ態勢強化・留学生数増加に向けた誘致戦略の検討 留学生受け入れ数 1000人	(取組1の活動指標) ワークショップ開催件数6件	・留学生ショートムービーコンテスト(新規企画) ・コラボカフェ 4件(協力) ・「留学生のためのスタディツアー」 第1回 熊本地震遺構と南阿蘇(11/13) 30名参加 第2回 山鹿の伝統と芸能文化 八千代座と来民うちわ作り(11/26) 30名参加 【共催/後援】 ○人吉・球磨の文化と蔵めぐり(国税局) 12/18 18人 ○水俣から環境を考える(熊本県) 1/14 28人	達成1 未達0			A	A		留学生の相談受付、ワークショップの開催、国際交流振興事業団主催の留学生と話そうサロンへの在学留学生の講師派遣など、熊本県内における留学生情報や事業活用の拠点としての活動を継続して行う。また、昨年度新規開催した「留学生ショートムービーコンテスト」も継続して実施する。留学性の就職に関しては、関係機関と連携し、県内企業への就職を目指す留学生の後押しをする。	B
	SNS等を活用した留学生ネットワークの構築	熊本への留学を希望する学生を増やすことを目的に、留学生同士のネットワークを利用し、熊本の大学の魅力を伝える情報発信を行う。在学留学生に対しては、熊本への愛着を深めることを目的とし、生活やイベント情報を効果的に発信し地域への活動への参加を促す。		(取組2の活動指標) アクセス数23,000件 コミュニティ参加者数600人	アクセス数 7,039件 コミュニティ参加者数605名 「留学生コミュニティ」サイトについては、従来コミュニティに加え、Instagram、Line及びTwitterを活用して効果的に情報を発信している。	達成1 未達1	アクセス数は活動指標に到達できなかったが、令和4年度からTwitterを新たに開設したり、Instagram、Line等のSNSを通じた発信を行った。	B	B			熊本への留学を希望する学生を増やすことを目的として、留学生同士のネットワークを利用し、熊本の大学の魅力を伝える情報を発信する。在学留学生に対しては、熊本への愛着を深めることを目的とし、熊本の生活やイベント情報を効果的に発信し、地域への活動への参加を促すことを計画している。また、平成27年度から実施している「熊本県内外外国人留学生の生活状況アンケート」について、熊本県内全体の留学生への支援のあり方を検討することを目的として、住宅やアルバイトなどの生活状況や、日本での就職に関することについて今年度も継続して調査する。		
	留学生のための“学モン都市クマモト”ツアー	九州地区の日本語学校等で勉強している外国人留学生に対し、熊本の大学を見学してもらい熊本で学ぶことの良さを知ってもらおう。事業の周知及び情報収集を目的として、九州内の日本語学校を訪問し、県内大学への留学生の誘致活動を行う。		(取組3の活動指標) 参加者数90人 日本語学校の訪問数14校	・個別相談1名 ・日本語学校へは、郵送・メール・電話による案内 県外91校、県内6校 ・福岡進学相談会参加者数 留学生11名 日本語学校教員13名	達成0 未達2	日本語学校に対象の留学生が少ないため、ツアーは中止としたが、関西方面の日本語学校へ誘致活動を行うなど新たな試みを開始した。	B	B	達成4 未達4	B	本目標に関する6件の事業において8つの活動指標が設けられており、達成4、未達4であった。新型コロナウイルスの影響により、進学対象の留学生が日本国内に入国できていないなど一部数値目標を達成できていないが、指標に代わる事業・イベントを開催するなど目標達成に向けた努力は行っており、総合的にB評価とした。	今年度は昨年度に引き続き「留学生のための“学モン都市クマモト”ツアー」はオンラインでの開催を計画しており、県内大学への留学生の誘致活動を行う。また、日本語学校数の多い福岡県で実施される留学生向けの進学相談会へ参加し、県内大学について紹介を行うとともに、郵送、メール等による誘致も併せて行う。	
	多言語による情報発信	HPの英語・中国語・韓国語に翻訳して掲載しているが、加盟機関のHPとリンクさせ、各機関の情報を海外に向けて発信できる体制を構築、継続する。 日本語・英語・中国語併記のリーフレットを作成し、各機関の協定校や海外オフィスでの配布を依頼し、福岡地区を中心に九州の日本語学校にも配布する。		(取組4の活動指標) リーフレットの配布先45件	コンソのホームページのコンテンツの追加を行うとともに、自動翻訳機能を追加し多言語で内容を充実した。 リーフレットは97校へ発送	達成1 未達0	活動指標の倍にあたる97校へ送付した。	A	A				福岡県、熊本県を中心とした九州の日本語学校及び大都市圏の日本語学校に重点的にリーフレットを配布する。	
	環境整備活動	「きれいな熊本にする」をスローガンに地域や加盟機関・諸団体との連携を図りながら、環境整備活動を実施する。		(取組5の活動指標) 学生・留学生・教職員の参加200人	R3年度同様12/4に熊本城二の丸公園広場清掃を実施 学生・教職員・スタッフの参加 52名	達成0 未達1	人数制限をして実施したため、B評価とした。	B	B				令和5年度も引き続き感染防止対策を徹底した上で実施する。具体的な実施内容については、学生企画委員会の協力を得て、学生の意見を取り入れながら清掃活動に拘らず、地域貢献の観点から検討する。この環境整備活動を通して、加盟機関の学生、教職員との交流・親睦を図る。	
	地域行事・イベントへの参加事業	加盟機関に在籍する留学生及びその家族並びに日本人学生・教職員が、地域で開催される行事やイベントに参加することを通じて、留学生及びその家族が地域や日本人学生・教職員との交流を含め、日本の伝統や文化を理解する一助とする。		(取組6の活動指標) 参加者数80人	・「おもてやん総踊り」に関しては、参加制限枠上限の50名で申し込んだが、開催1週間前に中止となった。 ・「留学生のためのスタディツアー」 ・熊本地震遺構と南阿蘇(上色見神社見学と高森田楽) 30名参加(再掲) ・山鹿の伝統と芸能文化(八千代座(山鹿灯籠踊り見学)と来民うちわ作り体験) 30名参加(再掲) ・人吉・球磨の文化と蔵めぐり(国税局との共催) 18人参加(再掲)	達成1 未達0	日本(熊本)の文化や伝統に触れるイベントに78名(人数限定)が参加したこと、及び「おもてやん総踊り」に40名を超える申し込みがあったためA評価とした。	A	A				「おもてやん総おどり」には、留学生支援事業の一環として参加するとともに、熊本に在留する留学生に対し、熊本の文化・歴史に触れるためのイベントや、日本人学生と交流できるようなイベントを開催する。	

大学コンソーシアム熊本中期計画（2019～2023年度） 自己点検評価表（令和4年度分）

事業の方向性	事業名	事業内容	熊本の高等教育機関の課題	課題解決に向けての達成目標	令和4年度活動指標	実績		活動状況評価 (各部会評価)	活動状況評価 (企画・運営委/理事会)	事業計画 達成状況	R4年度の 達成状況評価	評価理由	今後の対策等（令和5年度事業計画）	全体 評価		
4. 教育環境の向上	FD・SD	加盟機関の教職員の資質向上を目的として、現在のところ主にSDを実施している。外部講師による管理職研修、中堅職員研修、中堅職員フォローアップ研修のほか、業務種別ごとの関係する担当者の情報交換の場を作り連携促進も図っている。	地域における高等教育の環境を向上させるための包括的な取り組み（課題コ）	熊本の高等教育機関教職員の資質向上に関する取り組みの実施 開催件数8件 参加者数150人	(取組1の活動指標) 実施件数5件	6件実施 ・管理職研修 9/1・2 18名 (オンラインと対面) ・中堅職員フォローアップ研修 9/8 12名(対面) ・中堅職員研修 9/9 15名(対面) ・交流会(自己点検評価) 7/6 25名 ・交流会(人事労務管理) 10/19 25名 ・FD/SD講演会(合理的配慮) 2/27～3/10(オンデマンド) 66名	達成1 未達0	活動指標を超える6件を実施した。	A	A	達成3 未達2	A	本目標に関する5件の事業において5つの活動指標が設けられており、達成4、評価せずが1件であった。新型コロナウイルスの影響を最小限とするようオンライン（Zoom）での活動も活用し、対面での活動が可能なのは対面で活動した。その結果、すべての指標をクリアしたのでA評価とした。	外部講師による「新採用職員（新人）研修」、「中堅職員研修」、「中堅職員フォローアップ研修」及び業種別に関係する担当者の情報交換の場を作り、意見交換を通じて交流を深め、連携を図ることを目的に交流会（2回）を開催する。その他、FD・SD研修についても継続開催を計画する。		
	障がい学生支援連携事業	障がいのある学生への教育サポートの充実を図るため、また、実務担当者が定期的な情報交換や勉強会を実施し連携を強めていくことで、担当者間の一層の連携強化を図る。講習会や講演会など実施し加盟機関の実務担当者のスキルアップを図る。				3件実施 協議会 7/25 16名 11/28 12名 3/6 16名 勉強会(事例発表会・講演会) 11/28 12名 3/6 22名	達成1 未達0	協議会を3回開催し、勉強会を2回開催した。	A	A						障がいのある学生への教育サポートの充実を図ることを目的に、実務担当者が定期的な情報交換や勉強会を実施し、担当者間の一層の連携強化を図るため、平成26年度から「障がい学生支援連絡協議会」を立ち上げて実施している。令和5年度も勉強会や講演会などを開催し、加盟機関の実務担当者のスキルアップの向上と親睦を図り、障がいのある学生への教育サポートの充実につなげていきたい。
	男女共同参画推進連携事業	男女共同参画、ワークライフバランスの啓発等に資する事業を企画・実施する。また、加盟機関の教職員だけでなく学生の参加も考慮した介護と仕事の両立、人権啓発、ダイバーシティの推進に資する事業等にも取り組む。				4件実施 委員会 6/1, 11/16, 1/25 勉強会(LGBTs) 11/16 64名(オンライン) 教職員・学生含む	達成0 未達1	委員会を3回、勉強会を1回開催した。	B	A						今年度からは新たに「ワークライフバランス」を3年間のシリーズとし、今年度は「育児休暇」をテーマに、講演会や勉強会を中心に、ダイバーシティの推進に資する事業に取り組む。
	教員免許更新講習	・当該年度の教員免許更新講習の実施 ・翌年度の教員免許更新講習の開設準備 ・「教員免許更新講習管理システム」の共同運用 ・「受講料収納代行」（コンビニでの収納）」の共同運用				(取組4の活動指標) 実施件数200件	法改正により開催なし	評価せず	評価せず	評価せず						評価せず
	学生交流推進事業	各機関から選ばれた学生で構成する学生企画委員会を設置し、学生自身が様々な企画を立案・実施している。学生の交流の場や新規事業の企画・提案の場としての合宿研修を企画している。				3件計画3件実施 ①身だしなみ講座 12/22 19名 ②U25オンライン文化祭 ③南阿蘇バスツアー	達成1 未達0	活動指標である3件を実施した。	A	A						新型コロナウイルスが第5類に変更される予定であること等を勘案し、対面での活動を主とし、学生企画委員会により内容を検討、企画・実施する。コロナ禍の影響で希薄になってしまった学生同士の交流を重視した企画を中心に、留学生と交流する企画や、SDGsや地域の課題について考える企画等も検討する。